



本年度も、あと1ヶ月となりました。保護者のみなさまには、年間を通して学校教育及び行事等にご協力いただき、誠にありがとうございました。「学校評価に関するアンケート(3学期)」の実施にあわせて、学校全体の取組についてご紹介いたします。また、ホームページには各学部の行事・学習等を掲載していますので、ぜひご覧ください。

安心・安全の学校づくり

地震火災避難訓練(ブラインド訓練) 1月15日

3学期の避難訓練は、防災研修での講師の「決まりきった避難訓練は効果がない」というお話を受け、**ブラインド訓練**(子ども・教員に開始時刻を知らせずに訓練を行う)を実施しました。

当日は10時30分開始。この時間は授業と授業の間の時間で、子どもたちは教室移動の途中だったり、トイレに行ったりしており、教員も授業の片付けや準備をしている時間帯です。

訓練では、児童生徒も落ち着いて身を守る姿勢をとったり、教員も校内放送をよく聞いて、体育館へ避難したりすることができました。各教員は声を掛け合い、目を配り合いながら子どもたちの安全を確認することができました。

事後アンケートには、初めてのブラインド訓練を受けて、反省や課題があがりました。今後の防災対策や避難訓練に反映させ、安全安心な学校づくりを進めていきます。

【教員の事後アンケート(抜粋)】

- ・休憩時間に訓練できたことがよかった。トイレに行っている時や昼休み(生徒がバラバラ)の状況でも訓練を実施したい。どのように把握するか考えておきたい。
- ・日頃から教室を出る際には行先を伝える指導をする必要性を再認識した。
- ・地震後に避難する時に個人用ヘルメットや防災頭巾があるとより安全に避難できるのでは?
- ・避難指示の校内放送を誰でもが的確な言葉でできるように文言シートを作って放送機器の側に置いておくようにする。

緊急時カード 更新

本校では、各教室や廊下等に、**緊急時カード**と**記録用紙**を備えています。1・2学期の各学部の緊急対応シミュレーション訓練での反省や課題をもとに、緊急時カードを見直し・更新し、校内**42**か所に再配置しました。

緊急時カードは、病気や怪我で児童生徒が呼吸困難や意識不明等の重篤な状態になった時に、速やかに教員が連携して対応していくための**役割分担を明記したカード**です。

緊急対応訓練



3学期の各学部緊急対応訓練では、この新しい緊急時カードを使って、シミュレーション訓練を行いました。

緊急時に必要な対応をどの教員でもできるように、緊急対応に必要なツールの見直し・訓練を重ねていきたいと思えます。



緊急時カード

記録用紙

各教室の電話の側

教育活動の情報発信

ホームページでは、全校や各学部の行事や学習の様子、研究生産物等を公開しています。

学校評価アンケート結果も掲載していますので、ぜひご覧ください。



【学校評価アンケート結果】



ホームページ 掲載記事数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
記事数	3	5	8	2	2	1	15	2	7	12

ホームページ閲覧数

■ トップページ ■ 研究のページ



関係機関との連携

【大学】人材バンク

大分大学教育学部では、大学・大学院と附属校園の連携を推進しています。本校では、**学生の卒論協力**の他、「**教育相談**」として、大学・大学院の先生に専門の視点で子どもたちの様子を見てもらい、発達や特性に応じた指導支援についての助言をいただく機会を設定しています。

令和6年度・・・ 教育相談 5件、卒論協力 1件

モニタリング会議

モニタリング会議は、相談事業所が主催となり、**関係者(相談事業所の相談員、保護者、放課後等デイサービス担当者等、学校教員)**の連携を図り、お子さんの支援内容について、確認や見直しを行う会議です。本校の教員も各児童生徒のモニタリング会議に年1回参加し、学校の様子を伝えたり、学校外の支援の状況を把握したりして、関係者が連益した支援の充実に努めています。

